

用語解説候補リスト

【序論】

P2：ブランド糸島

糸島市の産品、自然、観光、歴史・文化、教育など、糸島が持つ個々の要素が多くの人に評価されることでつくり上げられる糸島地域そのものの評価・イメージ

【※第1次糸島市長期総合計画後期基本計画から引用】

P2：超高齢社会

65歳以上の人口の割合が全人口の21%以上を占めている社会を指します。

P3：ローリング方式

毎年度修正や補完などを行うことで、変化する経済・社会情勢に弾力的に対応し、計画と現実が大きくずれることを防ぐやり方のこと。

【※第1次糸島市長期総合計画後期基本計画から引用】

P4：ニッポン一億総活躍プラン

女性も男性も、お年寄りも若者も、一度失敗を経験した方も、障害や難病のある方も、家庭で、職場で、地域で、あらゆる場で、誰もが活躍できる、いわば全員参加型の社会のこと。

【※内閣官房 一億総活躍推進室 HP から引用】

P5：地域における多文化共生推進プラン

外国人登録者が200万人を超えたことを背景に、「国際交流」や「国際協力」に加え、「地域における多文化共生」を地域の国際化を推進する柱とし、各都道府県及び市区町村における多文化共生施策の推進に関する指針・計画の策定に資するため策定したもの。

【※総務省（地域における多文化共生の現状等について）HP から引用】

P5：グローバル化

情報通信技術の発展や交通手段の発達などとあいまって国境を越えて自由に行き交うこと。

【※第1次糸島市長期総合計画後期基本計画から引用】

P5：ICT

Information and Communication Technology の略称。情報技術に通信コミュニケーションの重要性を加味した言葉

P5：インバウンド

海外から日本へ来る観光客。

【※他計画から引用】

P6：Society5.0

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）のこと。

【※内閣府、科学技術政策 HP から引用】

P6：人口知能（AI）

知的な機械、特に、知的なコンピュータプログラムを作る科学と技術。

【※総務省、平成 28 年度版情報通信白書第 1 部 HP から引用】

P6：第 5 世代移動通信システム（5G）

移動通信システムはほぼ 10 年おきに世代交代しており、1980 年より少し前に出てきた携帯電話が、アナログ方式の第 1 世代、デジタル方式の第 2 世代、世界共通のデジタル方式の第 3 世代、2010 年頃からは「LTE-Advanced」の第 4 世代となり、2020 年からは第 5 世代「5G」が登場するということになる。5G とは 3 つの主要な性能を有しており、第 1 点目が「超高速」であり、2 時間の映画が 3 秒間でダウンロードできるようになる。第 2 点目が「超低遅延」で、情報の遅延を意識することなく操縦者はロボット操作等ができるようになる。3 点目が「多数同時接続」である。本格的な IoT 時代を支えるのが 5G。

【※日本データ通信 HP より、総務省総合通信基盤局電波部の布施田英生電波政策課長による講演の内容から引用】

P6：リデュース・リユース・リサイクル（3R）

Reduce…ゴミ減量（必要な分だけ買う）Reuse…再利用（一度使ったもので再度使えるものを利用する）Recycle…再生利用（使用済みのものを回収して原材料に戻してから製品化する）、の 3 つの頭文字をとった総称。

【※他計画から引用】

P6：持続可能な開発目標（SDGs）

2001 年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っている。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本としても積極的に取り組んでいる。【外務省 HP から引用】

P8：特定健診（※前回は特定健康診査）

平成 20 年度から始まった生活習慣病予防のための、各健康保険者が実施する健康診査。本市は、国民健康保険の保険者であり、国民健康保険被保険者の健康診査を実施しています。

【※第 1 次糸島市長期総合計画後期基本計画から引用】

P8：メタボリックシンドローム

内臓肥満に高血圧・高血糖・脂質代謝異常が組み合わさることにより、心臓病や脳卒中などになりやすい病態のこと。

【※厚生労働省 e-ヘルスネット HP から引用】

P11：財政力指数

自治体の財政基盤の強さを示す指数で、「1」に近いほど財政力が強い。

【※第1次糸島市長期総合計画後期基本計画から引用】

P11：経常収支比率

自治体運営に必要な経常的な経費が、地方税などの一般的な財源に占める割合。この比率が低いほど政策的な予算に充当できる。

【※第1次糸島市長期総合計画後期基本計画から引用】

P11：将来負担比率

自治体が将来的に負担すべき実質的な負債額の標準的に必要な財政規模に対する割合。

【※第1次糸島市長期総合計画後期基本計画から引用】

P11：ふるさと応援寄付金

ふるさと納税とは、自分の生まれ故郷や応援したい自治体を選んで寄附金を送るという制度。

納税という名称がついているが、寄附という行為になる。一定額以上の寄附を行えば、住民税と所得税からの還付・控除が受けられる。

【※糸島市 HP から引用】

【基本構想】

P15：パブリックコメント

行政機関が政策や規則などを制定するにあたって、その制定しようとする政策などの趣旨、目的、内容などの必要な事項を公表し、広く市民から意見や情報、改善案などを募集する手続きのこと。

【※糸島市地域福祉計画から引用】

P23：糸島サイエンス・ヴィレッジ（知の拠点づくり）構想

糸島市と九州大学と共同で、大学の基礎研究を実用化・事業化に結び付ける研究拠点構築のための構想を策定する調査・研究を進めている。その構想の中で、大学、企業、地域が一体となった研究拠点のこと。

【※糸島市 HP から引用】

P23：九州大学国際村（人と地域の交流の場づくり）構想

国籍や文化、生活習慣などの違いにかかわらず、互いを認め合い、自分の能力を生かして暮らせる心豊かな地域社会の実現に向けた取組として、九州大学を中心とした地域の国際化に対応するため、キャンパス隣接地域に受け皿となる「国際村」を創設する。

【※糸島市 HP（国際的な魅力のあるまちづくりに向けて：市長短信）から引用】

P24：健康寿命

厚生労働省の定義では、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」となっており、介護や支援等を受けずに、自立して日常生活を送ることができる期間のこと。

【※糸島市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画 資料編から引用】

P29：多文化共生

国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員としてともに生きていくこと。

【※他計画から引用】

P30：国土強靱化地域計画

国土強靱化とは、大規模自然災害等に備えるため、事前防災・減災と迅速な復旧復興に資する施策を、まちづくり政策や産業政策も含めた総合的な取組として計画的に実施し、強靱な国づくり・地域づくりを推進するもの。国土強靱化地域計画とは、地方公共団体の策定する国土強靱化計画。

【※内閣官房国土強靱化推進室（国土強靱化地域計画策定ガイドライン（第5版）基本編）HP から引用】

P32：地域共生社会

平成28年6月2日に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」で掲げられた新たな福祉ビジョンで、高齢者・障害者・子どもなどすべての人々が地域、暮らし、生きがいを共に創り、高めあうことができる社会をいう。

【※糸島市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画 資料編から引用】

P33：地域包括ケアシステム

地域住民に対し、介護、介護予防、医療、生活支援サービス及び住まいを、関係者が連携して、地域住民のニーズに応じて、一体的、体系的に提供する仕組みのこと。

【※糸島市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画 資料編から引用】

P35：6次産業化

農林水産事業者が生産（1次）、加工（2次）、販売（3次）まで一体的に取り組むことや、2次・3次事業者と連携して新商品やサービスを生み出すこと。

【※他計画から引用】

P35：モバイルワーク

移動中（交通機関の車内など）や顧客先、カフェなどを就業場所とする働き方のこと。

【※厚生労働省 HP から引用】

P35：DMO

Destination Marketing／Management Organization の略で、地域全体の観光マネジメントを一本化する、着地型観光のプラットフォーム組織。観光のプラットフォーム組織。

【※第1次糸島市長期総合計画後期基本計画から引用】

P35：SNS（P109）

ソーシャル・ネットワーキング・サービス：インターネット上の交流をとおして社会的なネットワーク（ソーシャル・ネットワーク）を構築するサービス（フェイスブック、ラインなど）のこと。

【※第1次糸島市長期総合計画後期基本計画から引用】

P36：サテライトオフィス

所属するオフィス以外の他のオフィスや遠隔勤務用の施設を就業場所とする働き方のこと。

【※厚生労働省 HP から引用】

P37：ユニバーサルデザイン

「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障がいの有無などにかかわらず利用しやすい施設・製品・情報の設計・デザイン。

【※第1次糸島市長期総合計画後期基本計画から引用】

P37：コンパクトシティ・プラス・ネットワーク

人口減少・高齢化が進む中、特に地方都市においては、地域の活力を維持するとともに、医療・福祉・商業等の生活機能を確保し、高齢者が安心して暮らせるよう、地域公共交通と連携して、コンパクトなまちづくりを進めること。

【※国土交通省 HP から引用】

P39：ストックマネジメント

明確な目標を定め、膨大な施設の状況を客観的に把握、評価し、長期的な施設の状態を予測しながら、既存の施設を計画的かつ効率的に管理すること。

【※総務省（老朽化対策・長寿命化）HP から引用】

P40：PDCAサイクル

マネジメントサイクルの一つで、計画（plan）、実行（do）、評価（check）、改善（action）のプロセスを順に実施し、事業を実施した結果を成果の視点で評価する手法のこと。

【※他計画から引用】

P40：公民連携（PPP）（基本計画にもPPP/PFIとして掲載されています）

Public Private Partnership（官民連携）の略称。公共事業に民間事業者のノウハウや資金力を活用すること。

【※他計画から引用】

P42：多極ネットワーク型コンパクトシティ

地区拠点や生活拠点と広域拠点をネットワークで結ぶまちづくり。

【※国土交通省（コンパクトシティの形成に向けて）HP から引用】

【基本計画】

P2：子育て世代包括支援センター

妊娠期から子育て期までを切れ目なく支援する機関。その家庭の個別課題を把握し、適切な支援につなげるため、保健師や助産師などの専門職を配置する。

【※糸島市地域福祉計画から引用】

P4：いとしま学

糸島子ども達が、地域の文化・歴史を学び、郷土への誇りと愛情を育む「いとしま学プロジェクト」に取り組んでいる。

【※糸島市 HP から引用】

P5：楽しい学校生活を送るためのアンケート（Q-U調査）（P99）

アンケートにより、学級生活に対する満足度（教師や友人との関係）と、学校生活に対する満足度（友人や学級との関係、学習意欲）の二面から、学校生活への適応度を測る調査。

【※第1次糸島市長期総合計画後期基本計画から引用】

P8：ドリームトレイサー（※前回は「ドリームトレイサー講座」）

自然活動体験を中心とした青少年育成講座。

【※第1次糸島市長期総合計画後期基本計画】

P8：糸島チャレンジクラブ“どんぐり”

糸島市内の中学生、高校生のクラブ。異年齢の仲間が集まり、家庭や学校ではなかなか体験できない活動や研修会を通じて、人生をたくましく生きていくために必要なさまざまな「ちから」を身に付けることを目指している。

【※糸島市 HP から引用】

P23：コミュニティソーシャルワーカー（CSW）

地域に出向き、福祉や生活全般の困りごと等、さまざまな相談を受け付けている福祉のなんでも相談員。

【※糸島市地域福祉計画から引用】

P23：日常生活圏域

地域包括ケアシステムにおいて、おおむね 30 分以内に必要なサービスを提供できる範囲。

【※糸島市地域福祉計画から引用】

P26：メタボリックシンドローム

内臓肥満に高血圧・高血糖・脂質代謝異常が組み合わさることにより、心臓病や脳卒中などになりやすい病態のこと。

【※厚生労働省（e-ヘルスネット）から引用】

P30：地域包括支援センター

高齢者の総合的な生活支援や高齢者世帯のいる家族の相談支援など地域ケアの中核拠点として介護保険法に基づき市町村が設ける機関。

【※第1次糸島市長期総合計画後期基本計画から引用】

P30：自立支援型ケアマネジメント

要支援者等が有している生活機能の維持・改善を図るため、本人の意欲を高めながら目的指向型の計画を作成し、自立を目指すもの。

【※糸島市（地域包括ケアシステム深化・推進）HP から引用】

P 30：フレイル

海外の老年医学の分野で使用されている英語の「Frailty（フレイルティ）」が語源となっています。「Frailty」を日本語に訳すと「虚弱」や「老衰」、「脆弱」などを意味します。日本老年医学会は高齢者において起こりやすい「Frailty」に対し、正しく介入すれば戻るという意味があることを強調したかったため、「フレイル」と共通した日本語訳にすることを2014年5月に提唱しました。

【※公益財団法人長寿科学振興財団から引用】

P32: スマート農林水産業

ロボット技術や情報通信技術(ICT)を活用して、省力化・精密化や高品質生産を実現する等を推進している新たな農業のこと。

【※農林水産省（スマート農業とは）から引用】

P35：インキュベート

設立して間もない企業や起業家などへの支援・育成すること。

P 40：糸島リサーチパーク

九州大学の研究成果を利用した研究・開発等を行う研究機関や企業研究施設等が集積。

【※糸島市 HP から引用】

P 40：O P A C K

九州大学学術研究都市推進機構のこと。

【※糸島市企業立地推進計画から引用】

P 47：アセットマネジメント

中長期的な視点に立ち、施設の効率的かつ効果的な管理運営を実践すること。

【※第1次糸島市長期総合計画後期基本計画から引用】

P 50 アダプト制度

市民と行政が協働で進める、新しい「美化・清掃プログラム」のこと。アダプト（ADOPT）とは英語で「養子 にする」の意味。一定区画の公共の場所を養子にみたと、市民がわが子のように愛情を持って清掃美化 を行い、行政がこれを支援する。市民と行政が互いの役割分担を定め、両者のパートナーシップのもとで 美化を進める。

【※第 1 次糸島市長期総合計画後期基本計画から引用】

P 52：R P A

Robotic Process Automation：パソコン上で動作するソフトウェアに定型業務を実行させること。単純作業や一定のルールに基づく業務を自動で実行させることで、人的資源の最適化や経費削減を図ることが可能となる。

【※糸島市 ICT まちづくり推進計画から引用】

P 53：テレワーク

情報通信技術（ICT=Information and Communication Technology）を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。

【※第 1 次糸島市長期総合計画後期基本計画から引用】

P 54：民間活力導入指針（P P P／P F I 導入ガイドライン含む）

P P P：Public Private Partnership（官民連携）の略称。公共事業に民間事業者のノウハウや資金力を活用すること。

【※他計画から引用】

P F I：Private Finance Initiative: プライベート・ファイナンス・イニシアティブ。公共施設などの建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力、技術的能力を活用して行う手法。

【※第 1 次糸島市長期総合計画後期基本計画から引用】

P 55：企業版ふるさと納税

地方創生の取組の実効性を高めていくため、地方公共団体が国から地域再生計画の認定を受け取り組む地方創生事業に対して、民間企業の皆様が寄附を行った場合に課税の特例措置を講ずる「企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）」が平成 28 年 4 月に創設。

【※福岡県 HP から引用】

P61：防災マイスター

防災に関する高い意識と知識を持ち、地域防災の推進者のこと。

【※他市 HP から引用】